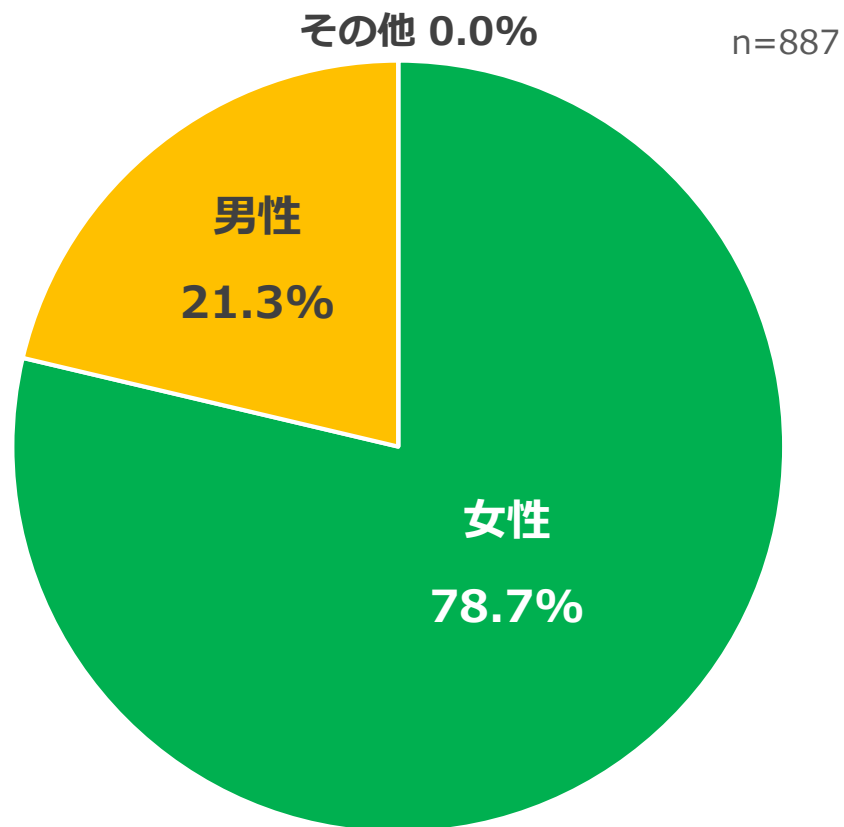




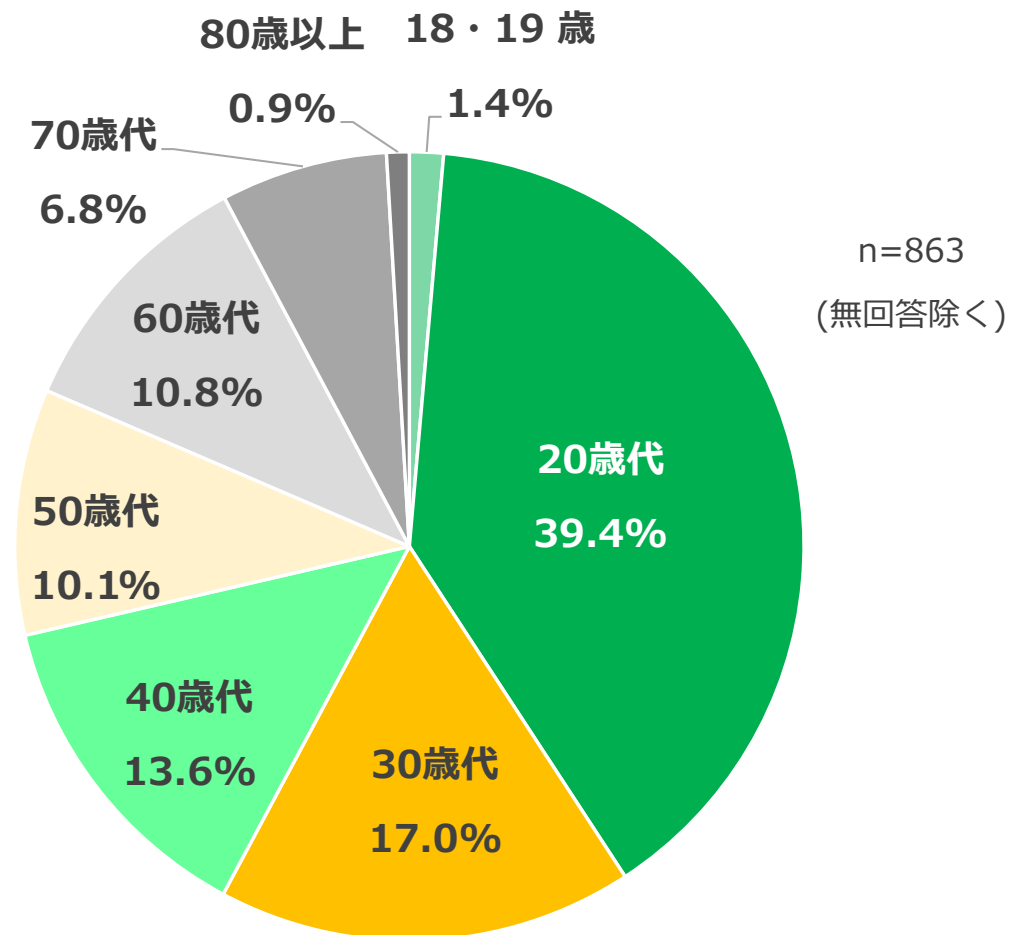
**日本財団ウクライナ避難民支援
アンケート結果
(第8回)**

男女比

※アンケート回答者の男女比。日本財団の支援対象者の男女比は男性：25%、女性75%

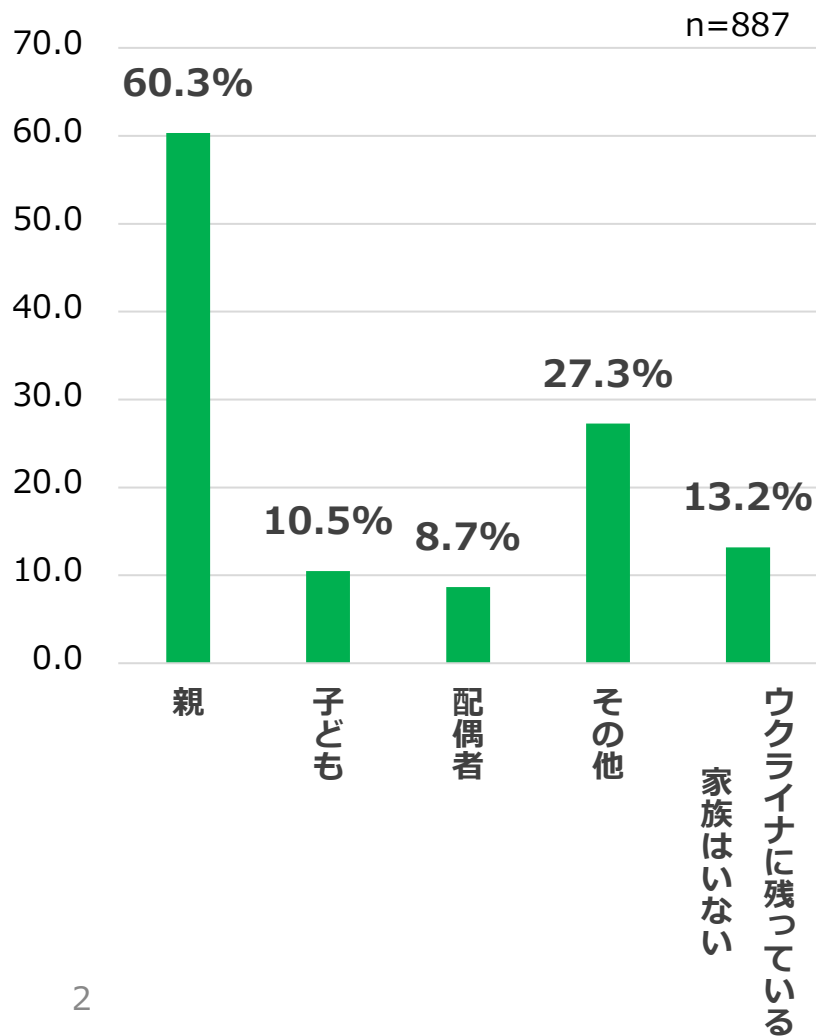


年代

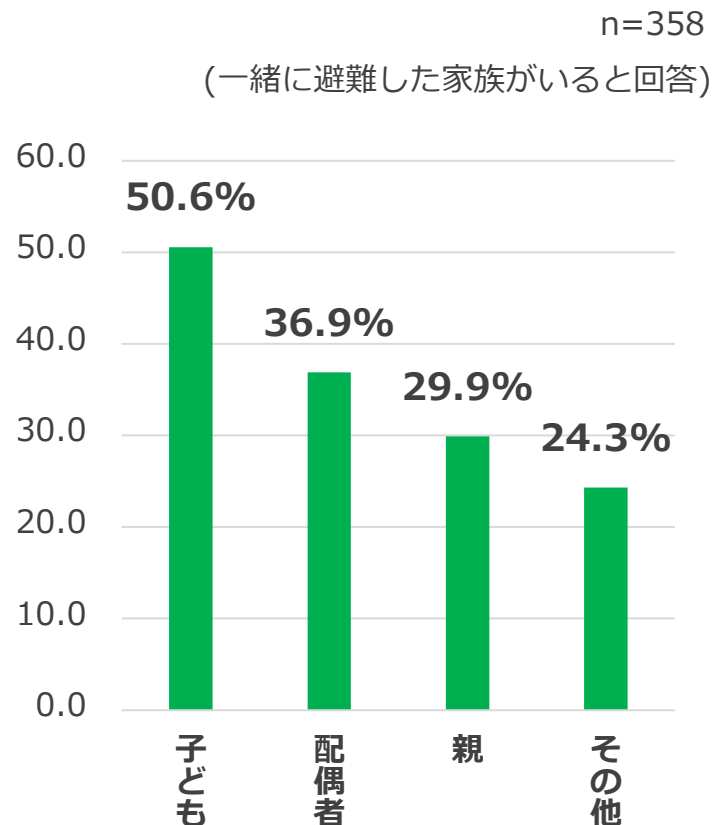


アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民
アンケート収集数：887人 実施期間：2024年10月16日～12月10日

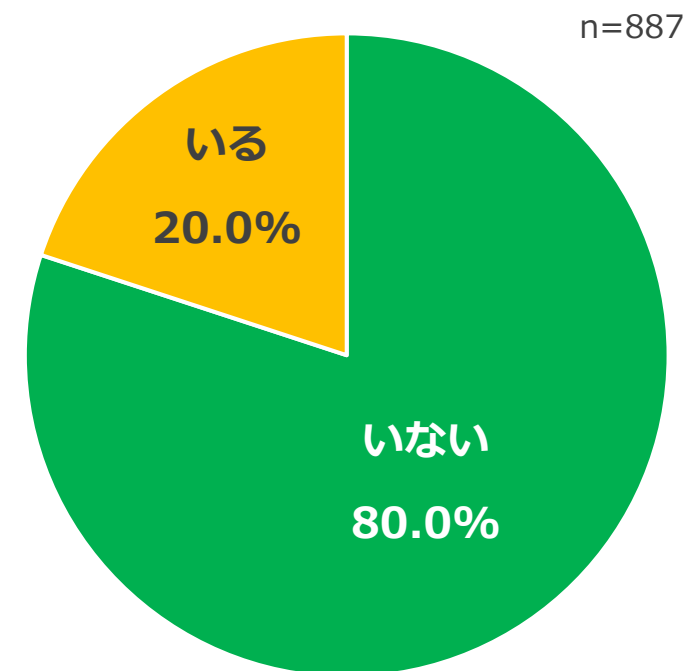
ウクライナに残っている家族



一緒に避難した家族

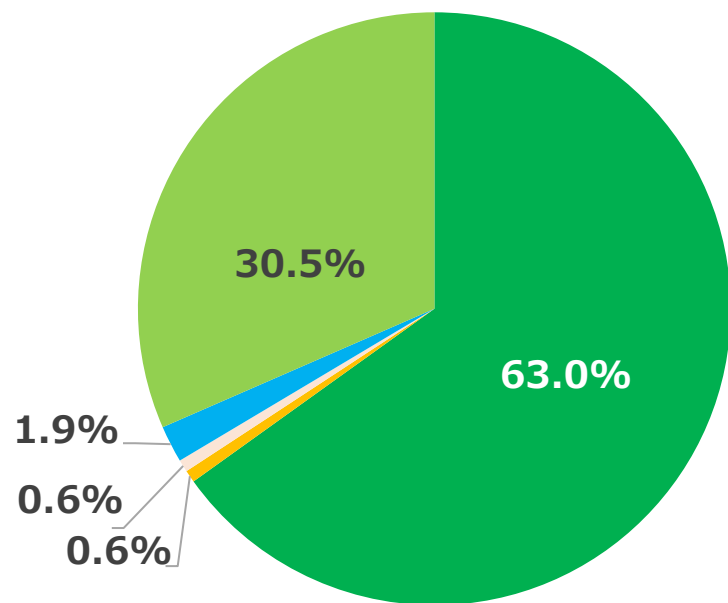


17歳以下の子どもと一緒に避難しているか



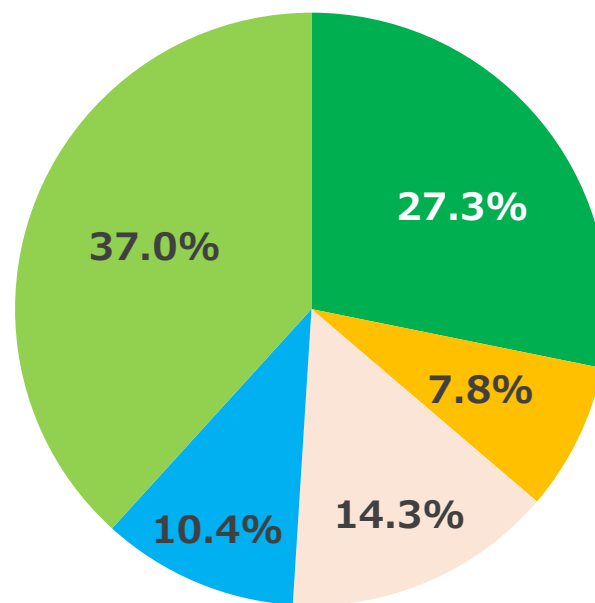
日本の学校

n=154



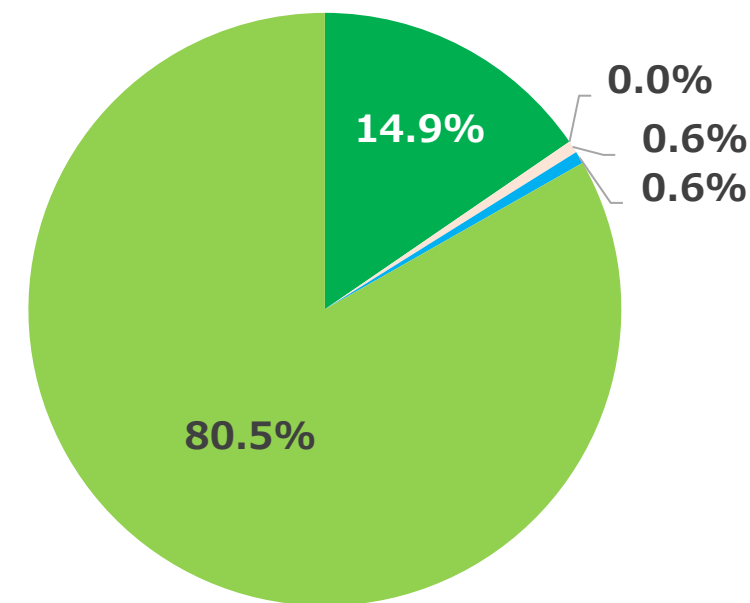
ウクライナの学校 (オンライン)

n=154



日本の外国人学校 (インターナショナルスクール等)

n=154

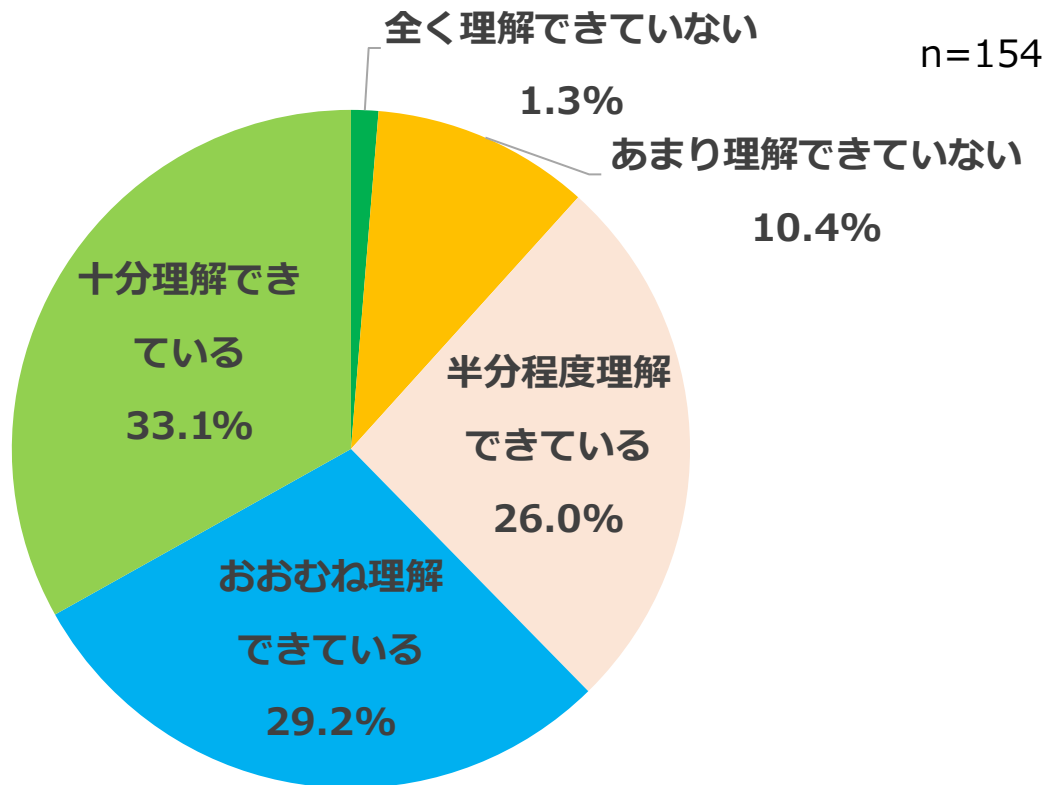


■ 毎日 ■ しばしば (週3~4回) ■ たまに (週1~2回) ■ 特定の教科だけ ■ 教育を受けていない

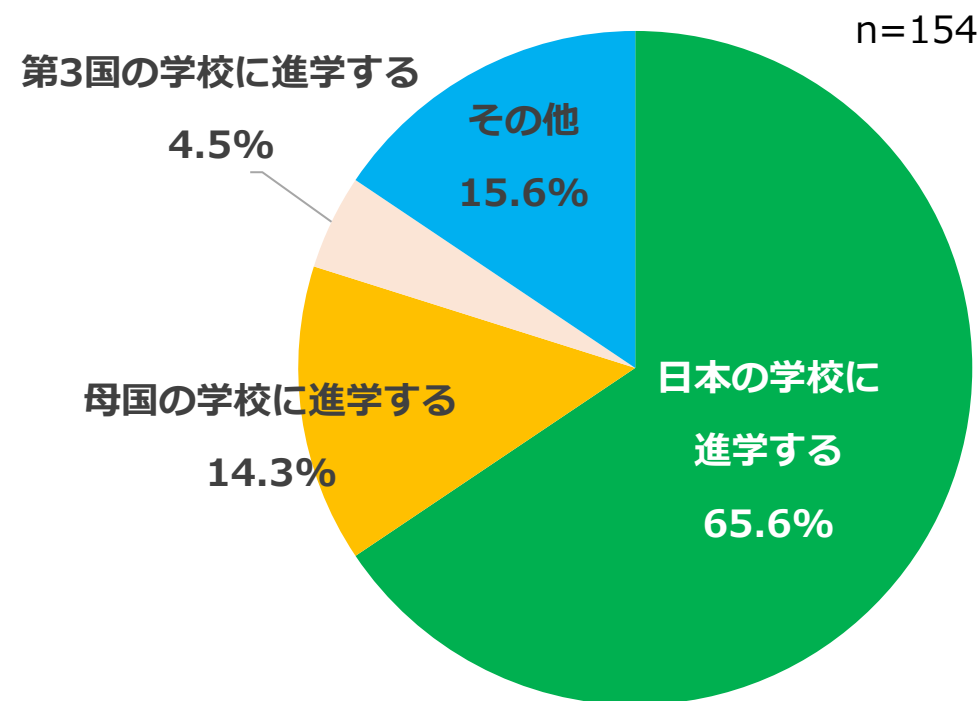
※図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民
アンケート収集数：887人 実施期間：2024年10月16日～12月10日
※上記対象者のうち、子どもが就学年齢（6歳から17歳）の方154人について回答

学校の授業の理解度



子どもの進学（想定）

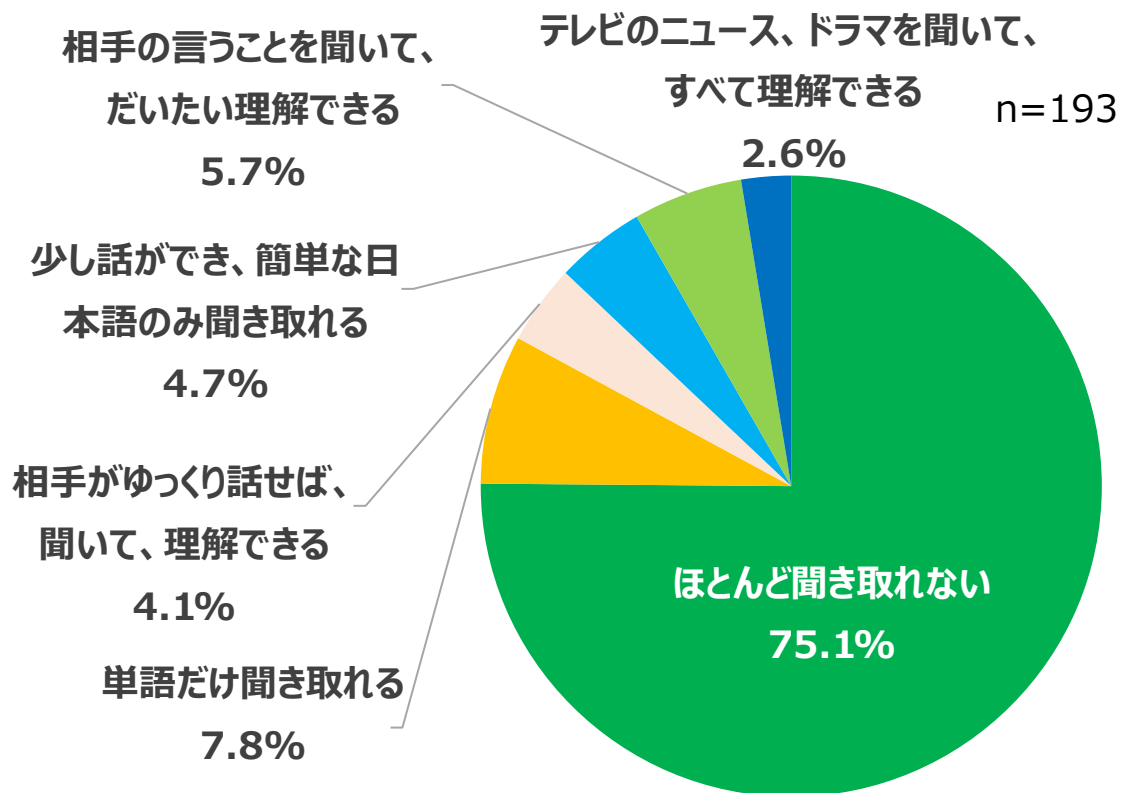


※図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

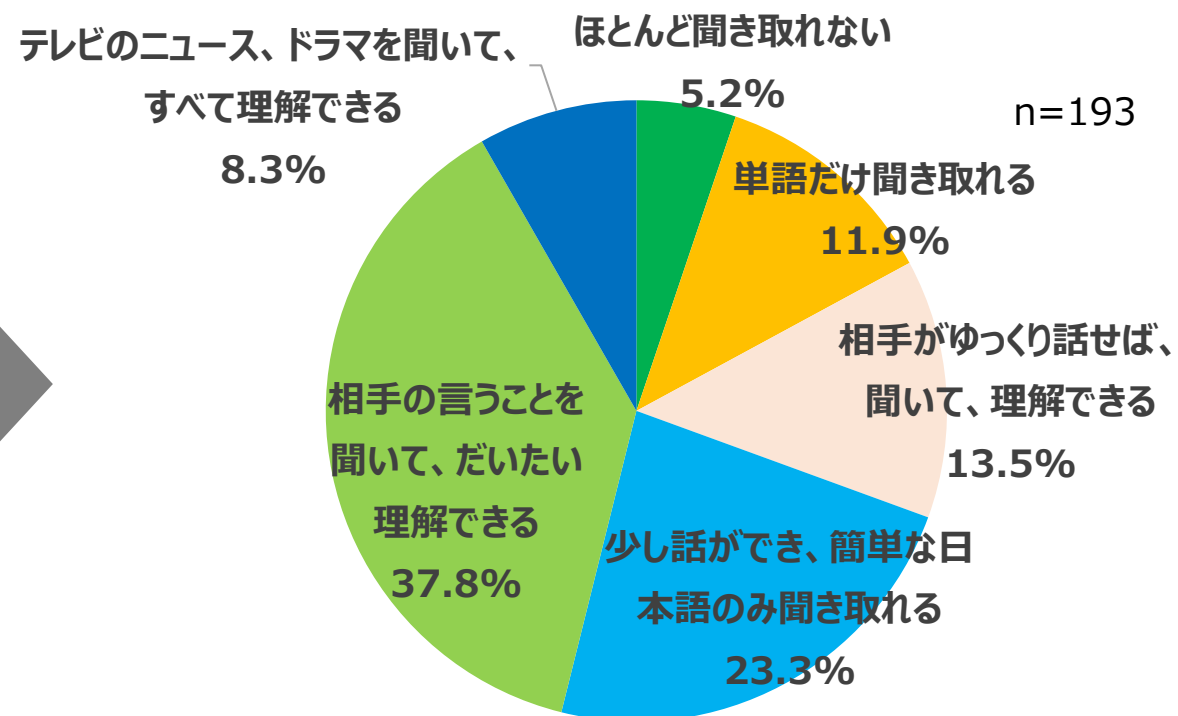
アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民
アンケート収集数：887人 実施期間：2024年10月16日～12月10日
※上記対象者のうち、子どもが就学年齢（6歳から17歳）の方154人について回答

アンケート結果：子どもの日本語能力（聞く能力）

日本に来た当初



現在

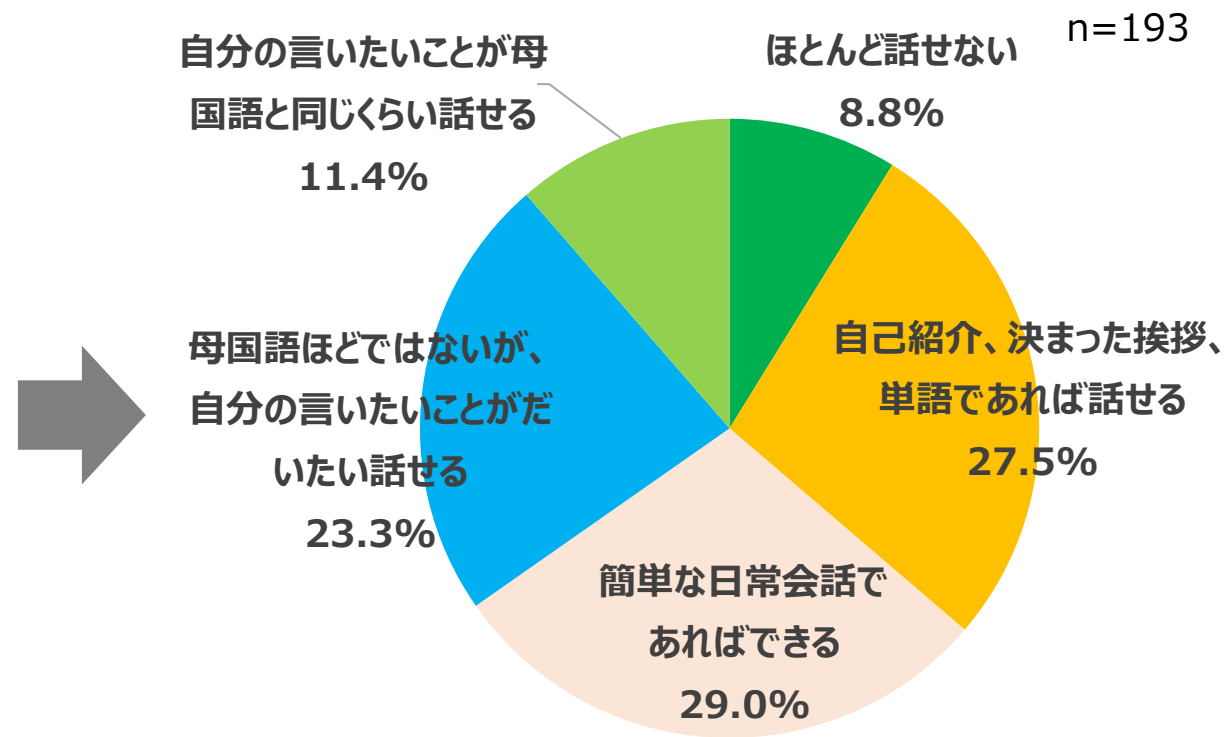
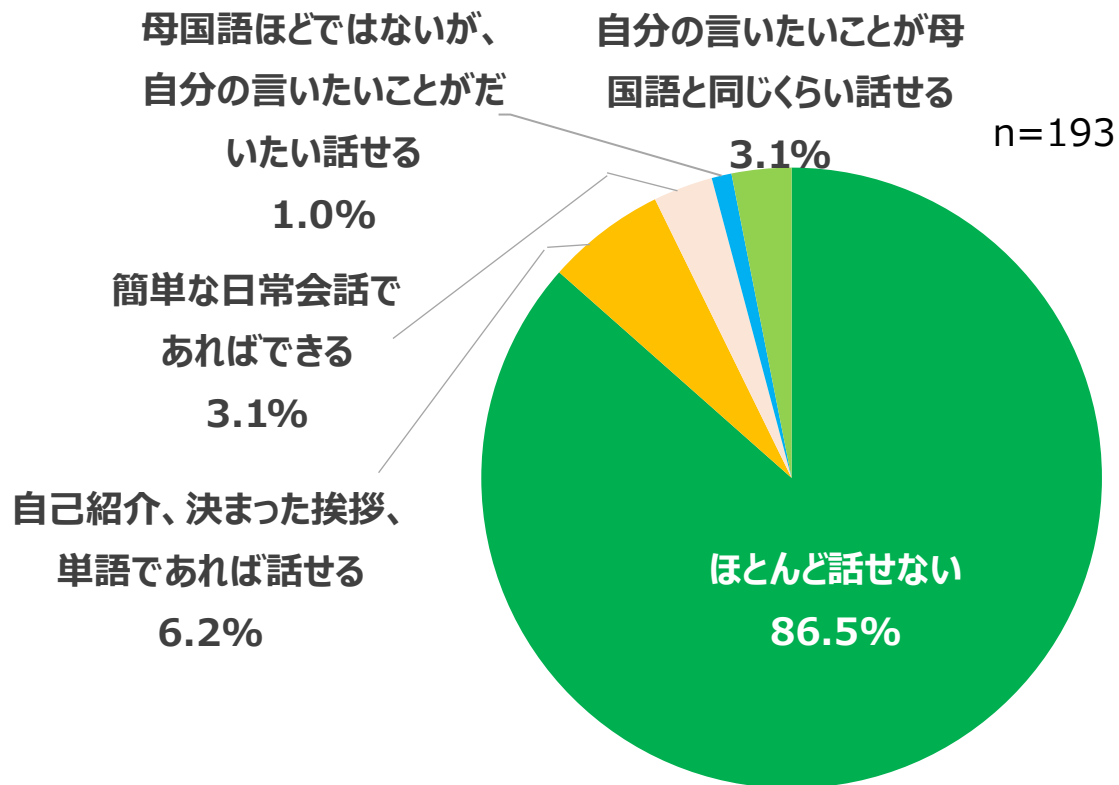


※図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、
合計しても必ずしも100%とはならない。

アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民
アンケート収集数：887人 実施期間：2024年10月16日～12月10日
※上記対象者のうち、子ども193人について回答

日本に来た当初

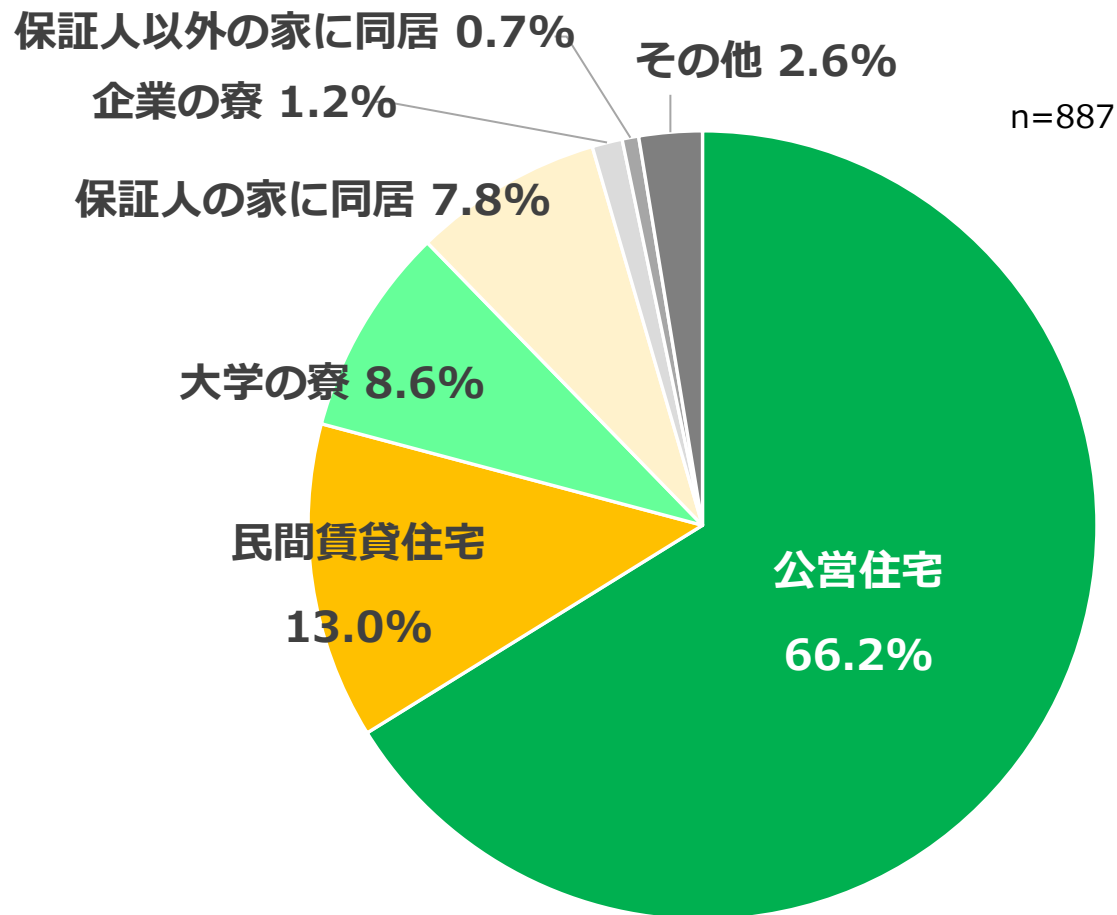
現在



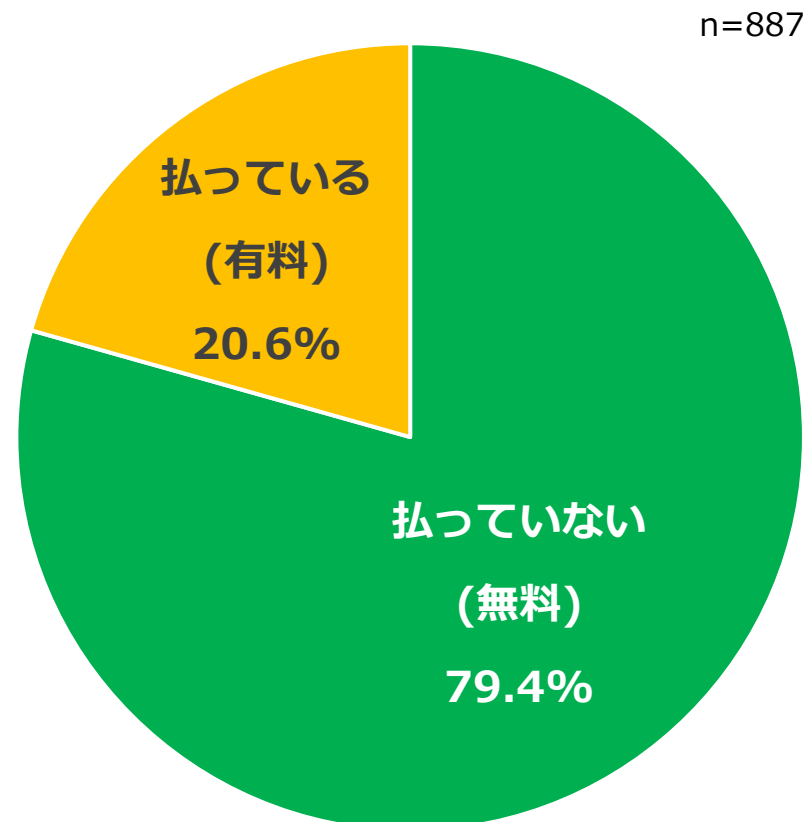
※図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民
アンケート収集数：887人 実施期間：2024年10月16日～12月10日
※上記対象者のうち、子ども193人について回答

どのような家に住んでいるか



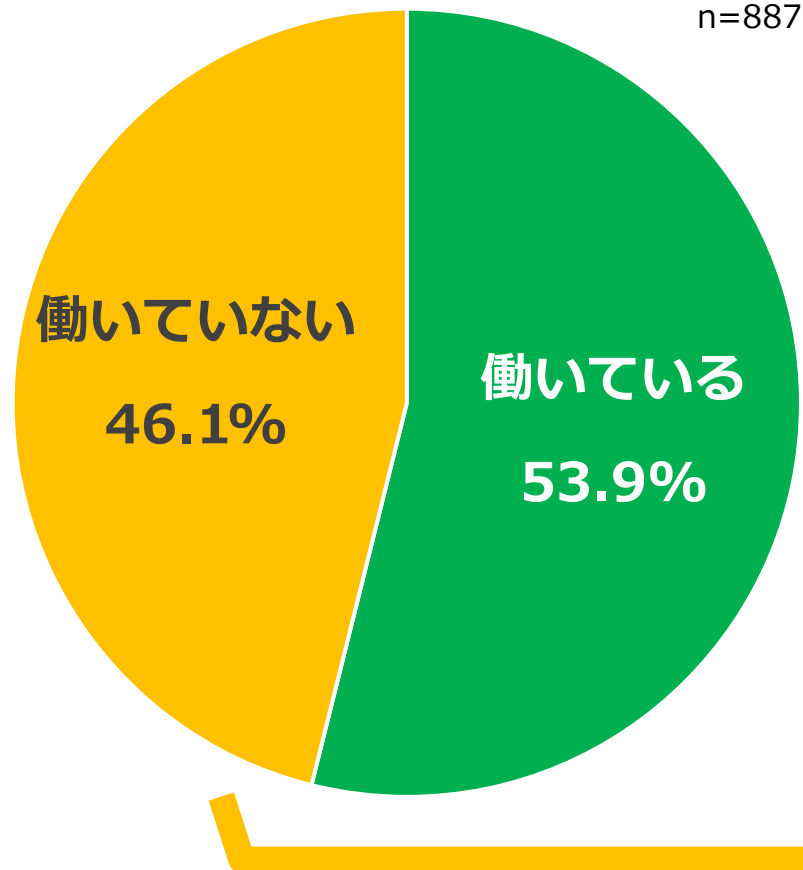
家賃を払っているか



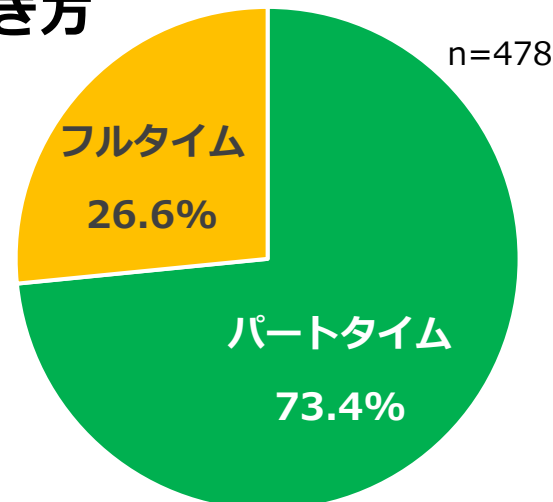
※図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民
アンケート収集数：887人 実施期間：2024年10月16日～12月10日

働いているか



働き方

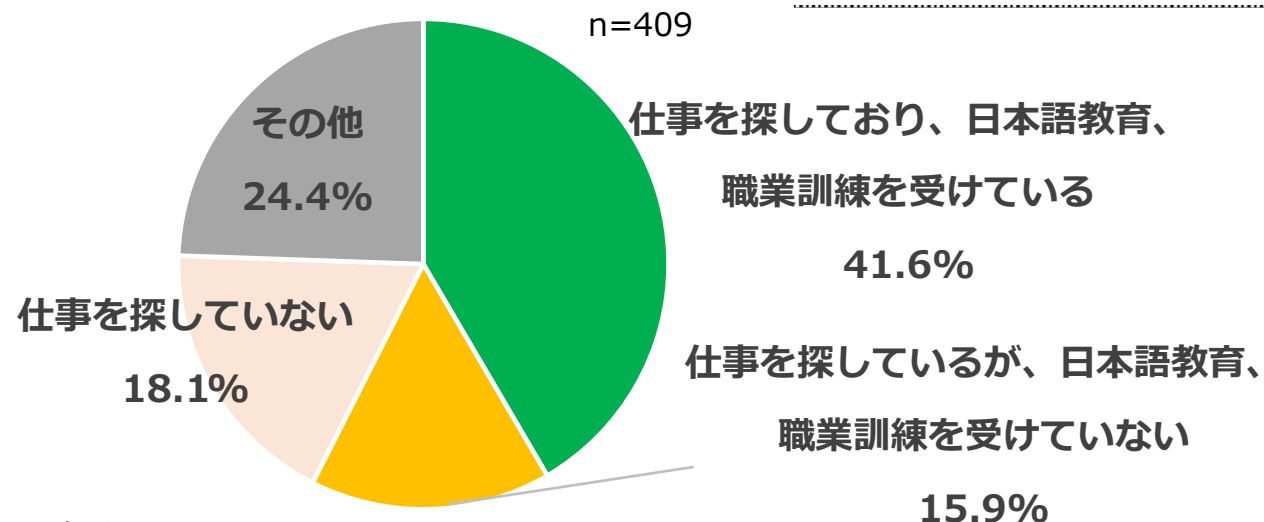


職種

n=481

販売・フード・アミューズメント	29.3%
保育・教育・通訳	10.9%
事務・アシスタント	9.8%
営業	9.4%
美容・ブライダル・ホテル・交通	5.2%
ITエンジニア	4.2%
クリエイター・クリエイティブ職	2.9%
技能工・設備・配送・農林水産	2.5%
企画・管理・経営	2.1%
医療・福祉	2.1%
建築・土木	1.7%
その他	19.9%

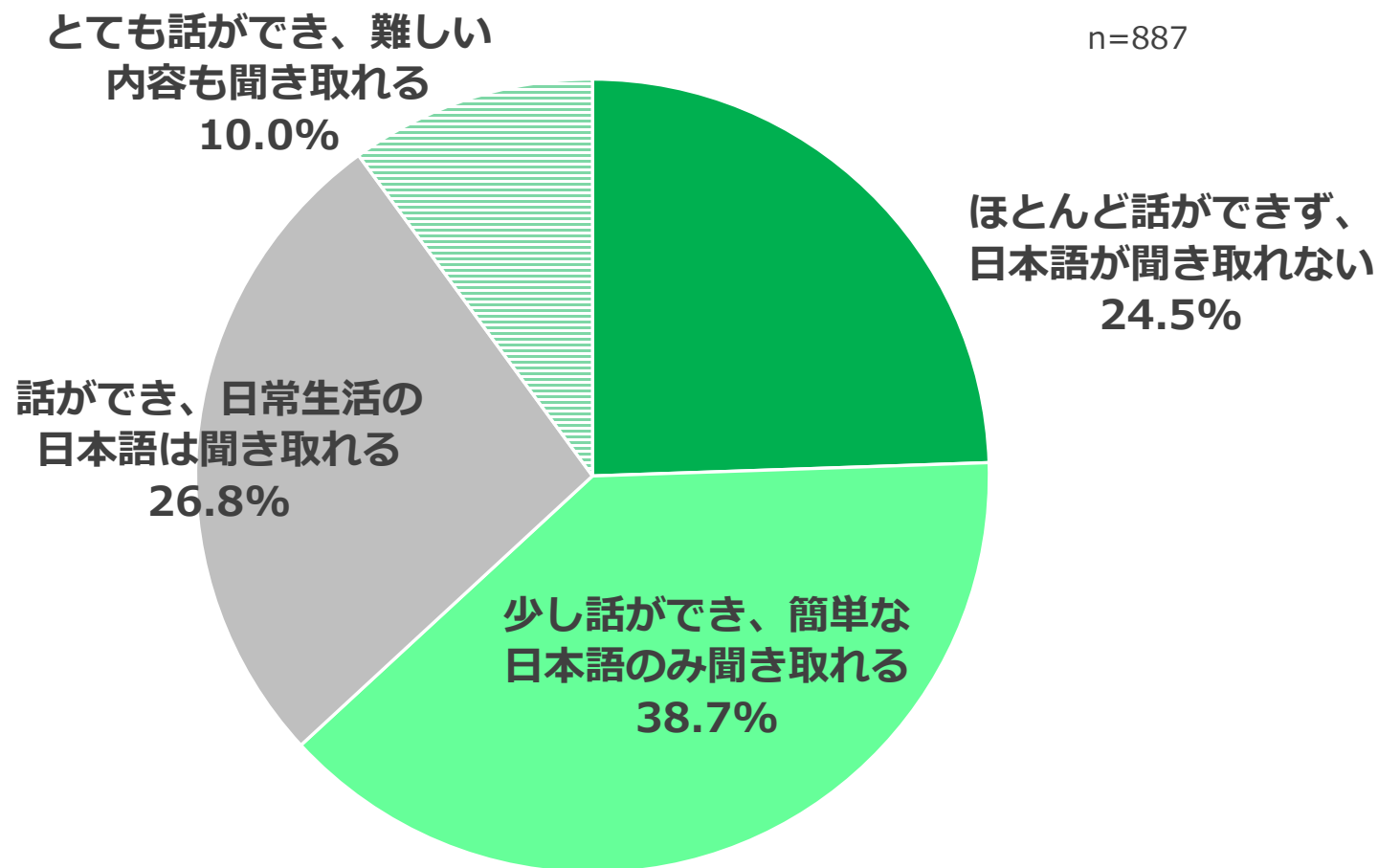
働いていない場合の状況



※図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民
アンケート収集数：887人 実施期間：2024年10月16日～12月10日

日本語が話せるか

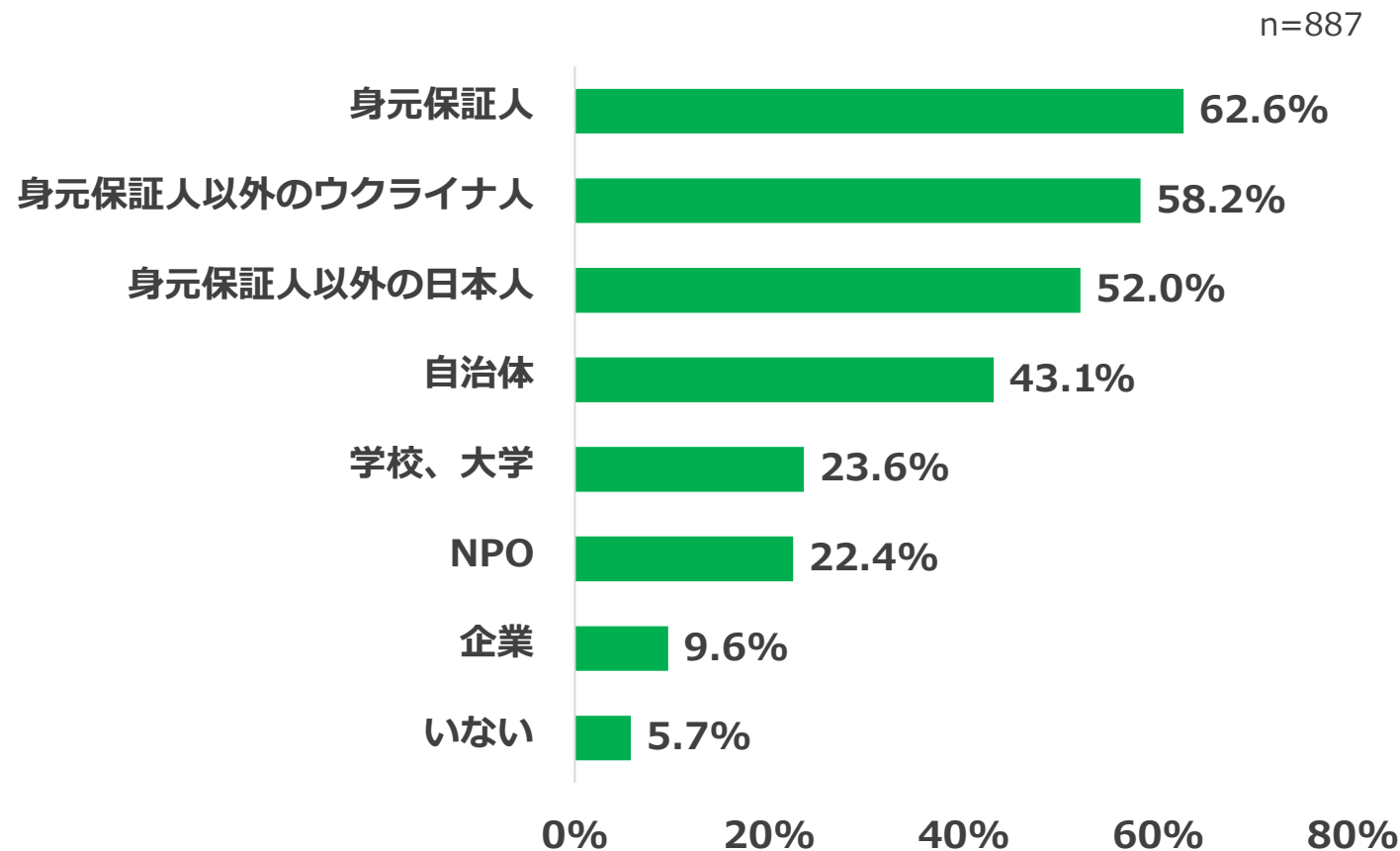
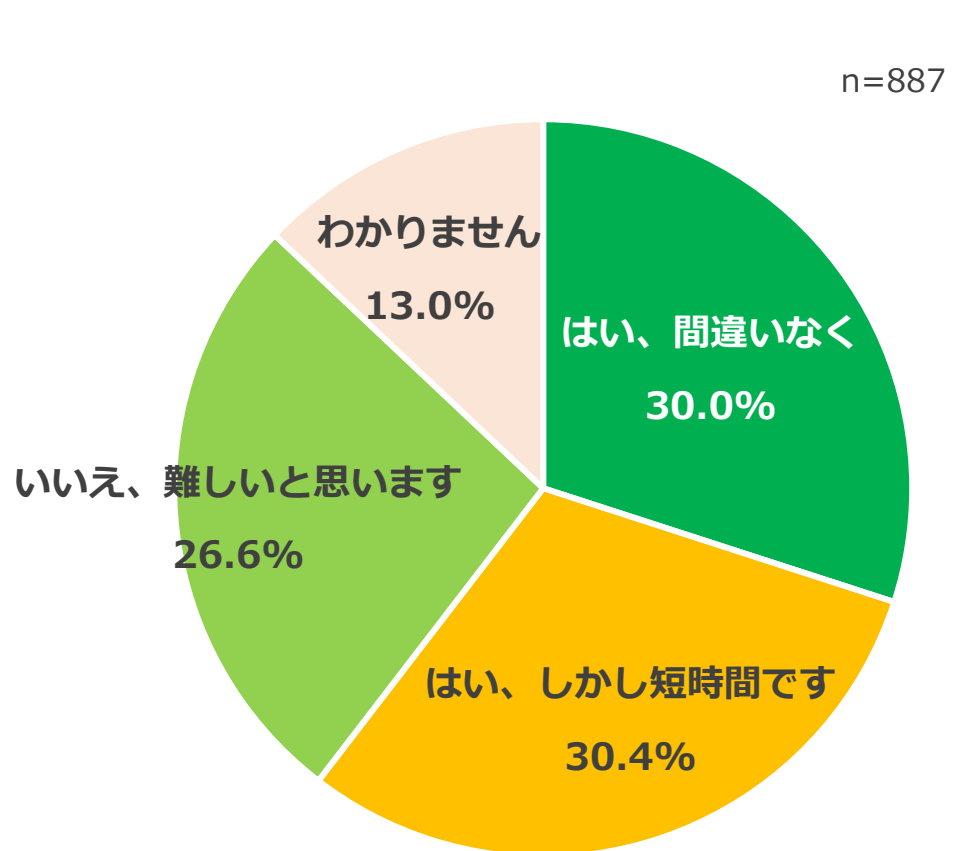


※図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

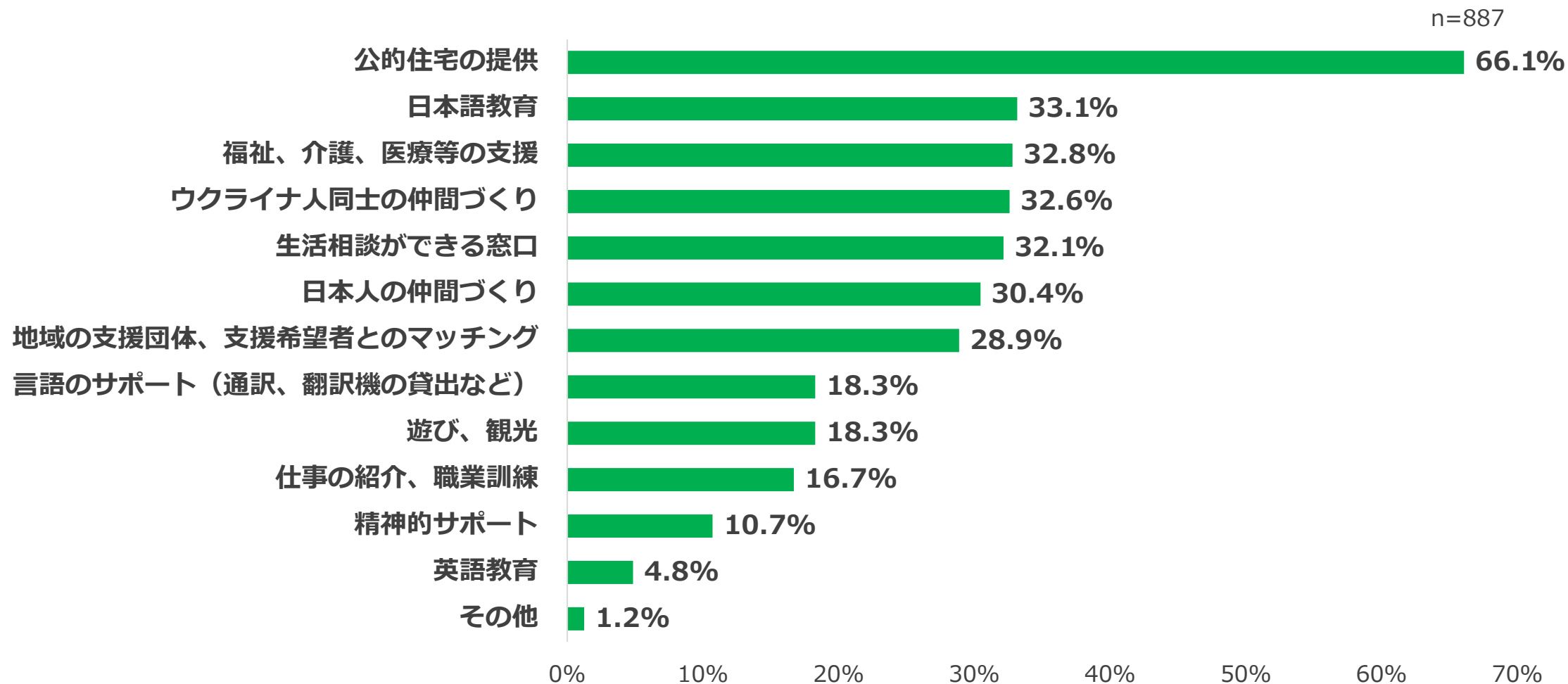
アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民
アンケート収集数：887人 実施期間：2024年10月16日～12月10日

身元保証人にサポートする余裕があるか

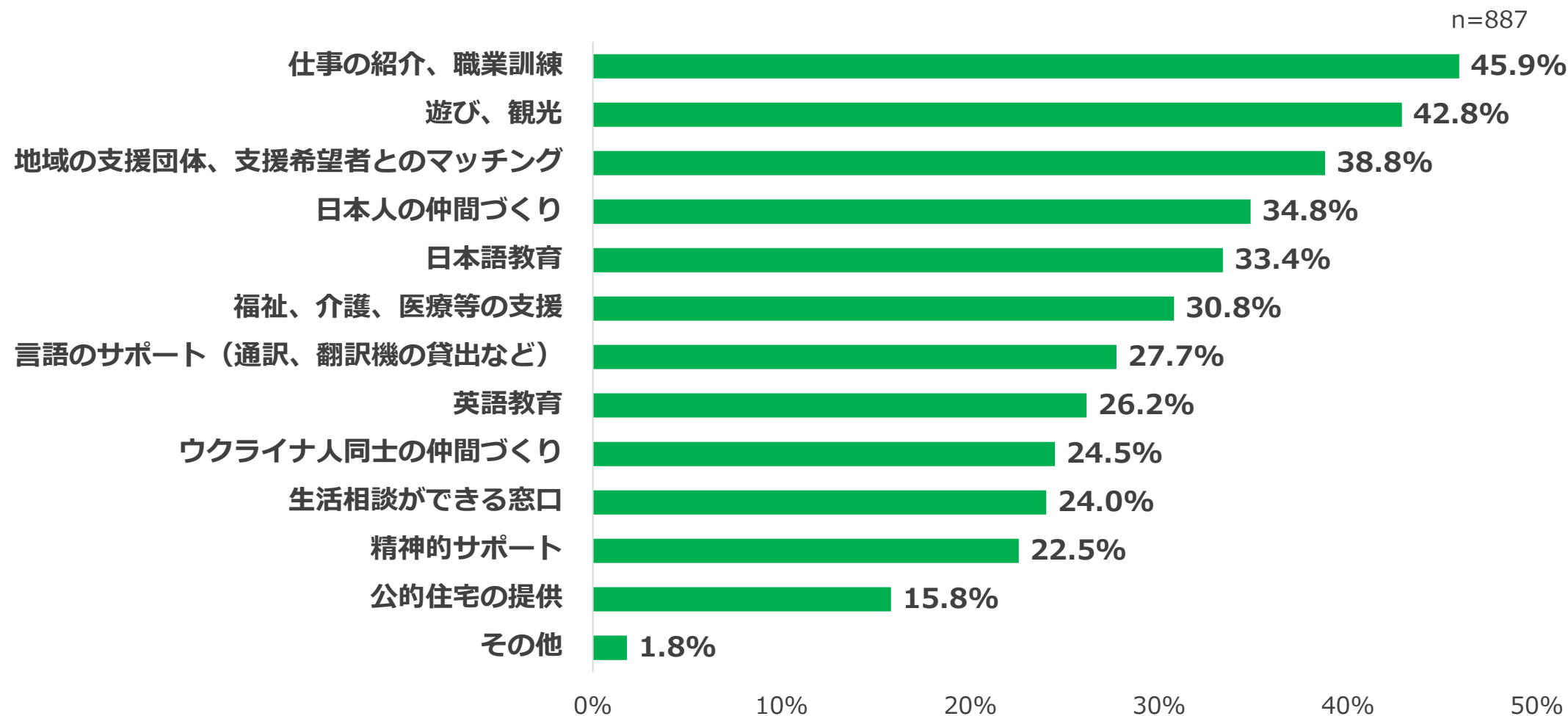
困ったときに相談できる存在（複数回答）



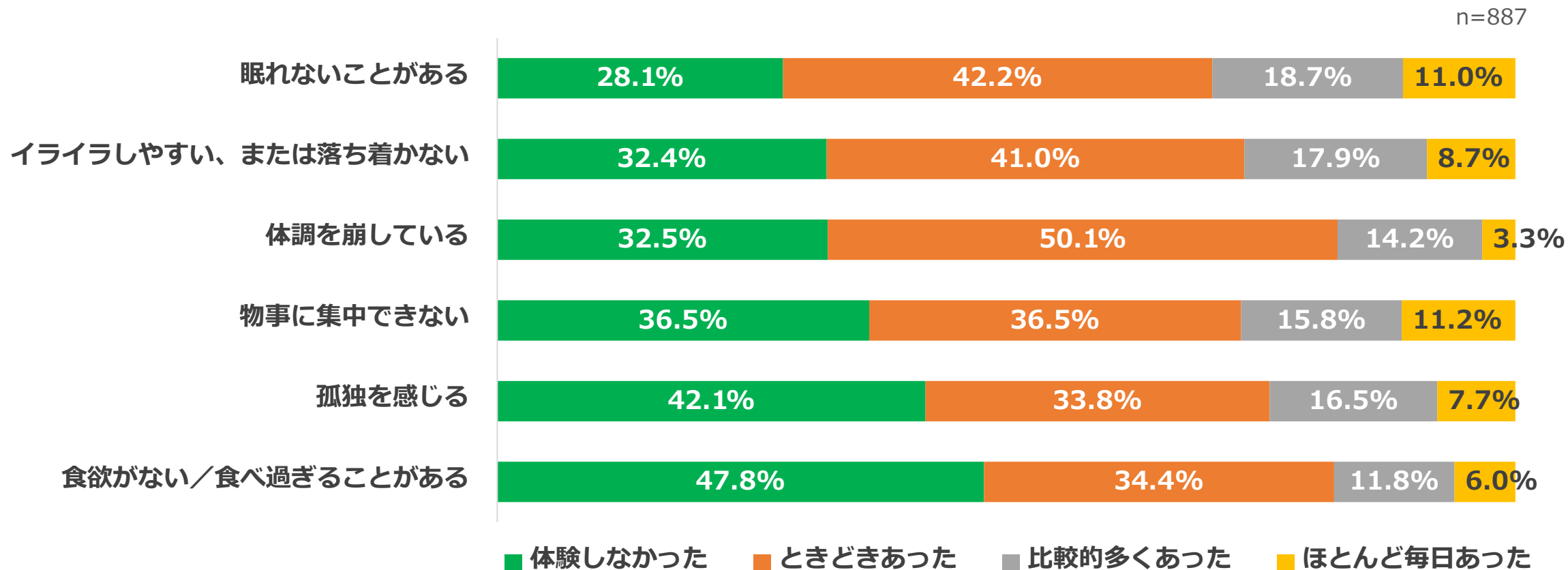
給付金、生活物資の提供以外で、受けている支援は何ですか。



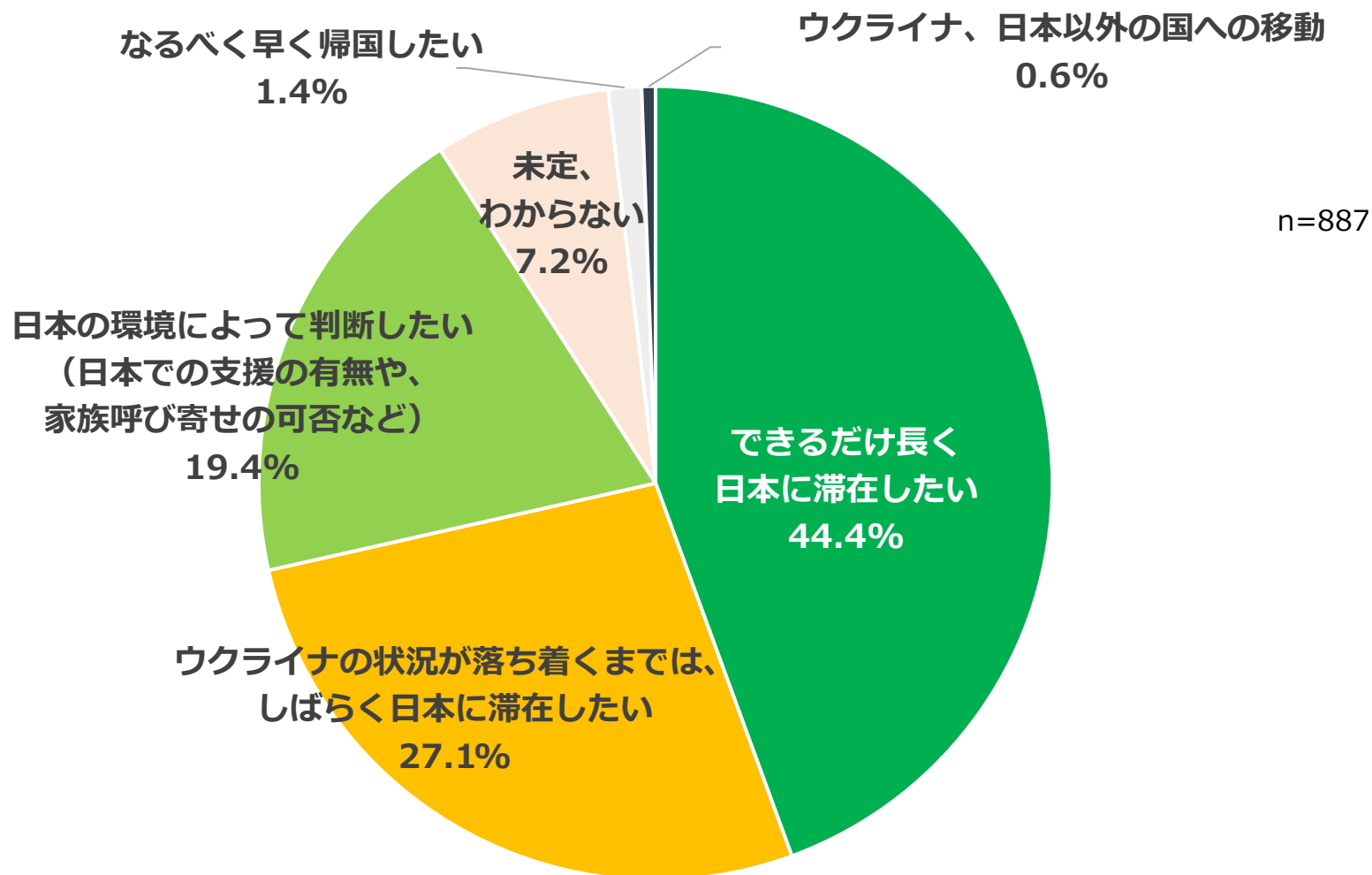
給付金、生活物資の提供以外で、必要な支援は何ですか。



ここ2週間の状況であてはまるもの



帰国の意思、希望を教えてください。



※図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民
アンケート収集数：887人 実施期間：2024年10月16日～12月10日

今年、私はついに日本に留まることに決めました。以前は大変で孤独だったのですが、今では慣れてきて、友達もいます。私の日本語は上達しましたが、良い仕事に就くにはまだ十分ではありません。私はモデルとして働き始め、柔軟な働き方を探していました。より良い未来を築いていきたいと思っていますが、サポートなしではとても難しいです。（女性／20代／東京都）

子どもたちは安全であり、言葉の壁はもうありません。学校に通い、追加のグループに参加し、友達がいいます。（女性／40代／大阪府）

私は徐々に日本社会に溶け込み、生活を部分的に整えることができました。また、次男も日本語を学ぶ機会を得て、友達を作ることができました。日本語が読めないので買い物はまだ難しいです。日本人の友達がいいます。（女性／40代／東京都）

最初に比べて日本での生活に慣れて、地域の人たちとも繋がりができて安心して暮らしています。（男性／20代／茨城県）

移住後の適応もようやく終わりに近づいているように感じます。ここで仕事を見つけ、日本社会で自分の居場所を見つける時が来ました。（女性／50代／東京都）

私は無料で教育を受け、パートタイムで働いています。（女性／20代／東京都）

日本語を勉強する機会をありがとうございました。私の日本語のレベルは目に見えて上がり、生活が信じられないほど楽になりました。（女性／40代／広島県）

私たちはさまざまなイベントや旅行に参加して、日本についてできる限り学ぶように努めています。そして回を重ねるごとに日本への愛が強くなっていきます！本当に感謝しています！（女性／70代／兵庫県）

日本人と話したり交流したりする機会がないのはかなり困難です。厄介な状況を引き起こさないように、言語を学ぶには、まさにこれが必要です。どのようにして自分と同じ年齢の日本人と友達になるかが、大きな問題です。（女性／20代／千葉県）

半年前に日本語レッスンを終了し、今では知識が大幅に不足しており、コミュニケーションをとることがほとんどなく、家で時間を過ごすことが多いため、以前のレベルを維持するのが困難です。（女性／30代／熊本県）

日本に住んで勉強することができましたが、今ではもう助けがなくなるのではないか、そして母と祖母と私がアパートを借りる費用をすべて払えなくなるのではないかと、とても心配しています。公共料金、医療サービス、自分で勉強すること。これが今日の最大の問題です。自分の人生を支える専門職や仕事を得るには、もっと時間が必要です。（男性／20代／千葉県）

日本とその国民が私たちのためにしてくれたことすべてにとっても感謝しています。しかし、プログラムの終了が近づくほど、将来への不安が大きくなります。（女性／30代／東京都）

現在パートのため、家族がいるので生活費が不安です。正社員になれる仕事を支援していただけると嬉しいです。（男性／40代／京都府）

私は長い間、日本の企業に就職したいと思っていましたが、残念ながら、私の分野では非常に高度な語学力が求められます。（男性／20代／東京都）

年金受給者はどうすべきかという問題は大きな関心がある。年金受給者に対する経済的支援はあるのか。（男性／70代／千葉県）

昨年に比べて生活はかなり悪くなり、公共サービスや医療保険の値段が非常に高く、野菜や果物は全く買わなくなりました。（女性／70代／千葉県）